



## 令和2年度第1回上下水道モニターアンケート結果について

1. テーマ  
「意識調査」
2. 概要  
現在の意識や認知度等、日常の水道・下水道の利用に関するアンケートを実施。  
質問数は26問。（F S除く）
3. 調査期間  
2020/6/16～2020/6/30
4. 調査方法など  
対 象：上下水道モニター358名  
調査方法：インターネットを通じてアンケートに回答  
回収率：調査対象358名に対して、  
有効回収数336名  
有効回収率93.8%

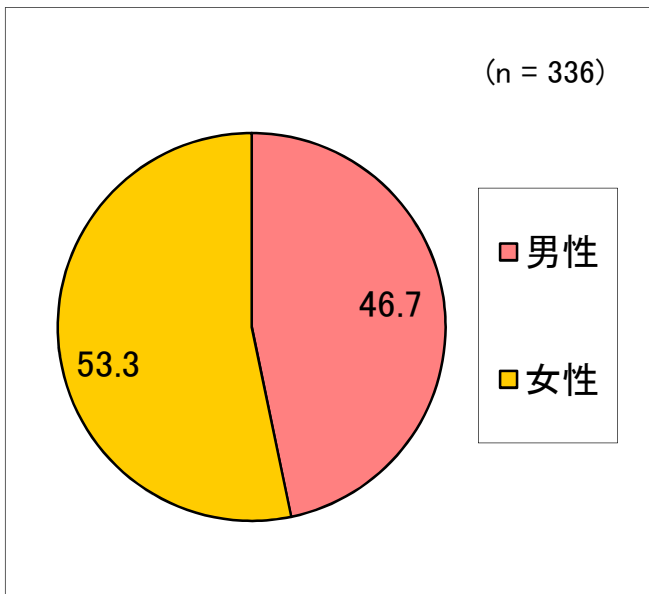


本アンケートの設問は全26問（F S 除く）です。

F S	性別、年齢
問 1	あなたは他都市に居住し、日常的に水道を利用したことはありますか。
問 2	あなたが名古屋市にお住まいになって、何年になりますか。
問 3	同居しているご家族はご本人様を含め何人ですか。
問 4	現在、小学生以下の方が同居していますか。
問 5	あなたの住居の給水方式はどれですか。
問 6	上下水道モニターの募集をどこでご覧になりましたか。
問 7	上下水道モニターに応募された理由は何ですか。
問 8	過去に上下水道モニターを経験されたことがありますか。
問 9	現時点での率直なご意見を教えてください。現在の上下水道事業について、どの程度満足していますか。
問10	上下水道局が発信する情報を目にされたことはありますか。
問11	上下水道局で実施しているイベントや施設見学に参加したことがありますか。
問12	なごやの水道水をおいしいと思いますか。
問13	水道水の安全性について、日頃から感じていることを一つ選んでください。
問14	水道料金、下水道使用料についてどのように感じていますか。
問15	地震などの災害に備えて1人9リットル（1日3リットルの3日分）の飲料水の備蓄をお願いしています。このことをご存じでしたか。
問16	災害時に上下水道局職員などが仮設給水栓を設置し、応急給水を行う「応急給水施設」をご存知ですか。
問17	名古屋市内の全ての市立小中学校には、災害時に地域の皆さまが自ら操作して飲料水を確保するための設備である「地下式給水栓」が設置されていることをご存知ですか。
問18	名古屋市内の全ての市立小中学校には、災害時に地域の皆さまが自ら設置してご利用いただける「下水道直結式仮設トイレ」が設置されていることをご存知ですか。
問19	道路のわきには雨水が下水道に流れていく入口である雨水ますがあります。この雨水ますの上に落ち葉やゴミが溜まると、雨水が下水道に流れていかず、道路冠水が起こることがあります。このことをご存知でしたか。

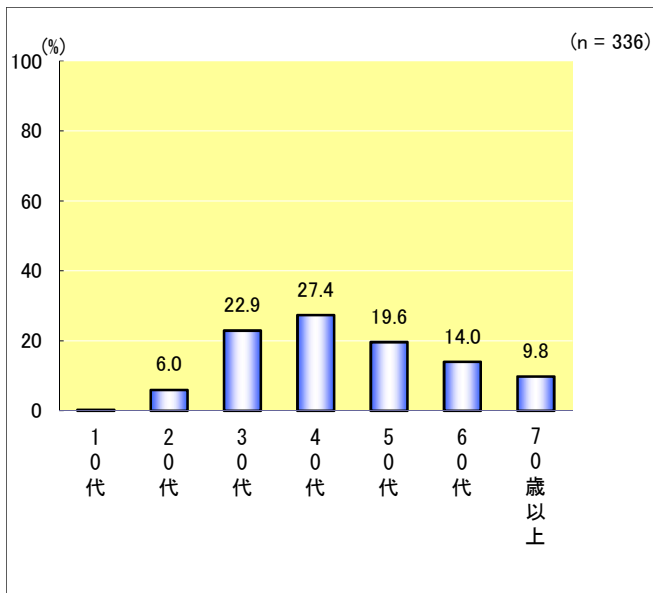
<p>《上下水道事業の現状と課題について》</p> <p>上下水道局では、令和元（2019）年度から10（2028）年度までの10年間を計画期間とする、長期経営計画「名古屋市上下水道経営プラン2028」を策定し、事業に取り組んでいます。そのなかで、上下水道事業を取り巻く現状と課題について、以下のとおり整理しています。上下水道事業の現状と課題についてご存知でしたか。（問20～26についてそれぞれ<u>一つ</u>ずつ選んでください）</p>	
問20	昭和40年代から昭和50年代にかけて整備された施設が多く、老朽化による施設の改築・更新時期が集中することが見込まれます。長期的な視点に立って施設の耐震化などを考慮した改築・更新事業の平準化を図るとともに、環境保全などと整合を図りながら改築・更新を進めることで効率的に機能向上に取り組む必要があります。
問21	南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模地震や集中豪雨などへの備えとして地震対策・浸水対策を着実に推進していく必要があります。地域のみなさまとの連携を深め、「自助・共助・公助」の取り組みによる総合的な災害対応力をさらに強化していく必要があります。
問22	名古屋駅地区では令和9（2027）年のリニア中央新幹線の開業に向け、配水管や下水管の移設などを伴う大規模な工事が行われます。そして名古屋駅周辺地区と栄地区を中心とする都心部の発展を安定した上下水道サービスの提供によって支えていく必要があります。
問23	本市の水道事業は、良質な水源に恵まれ、100年以上にわたり安全な水道水の供給に努め、「断水のないなごやの水道」という歴史を築いてきました。今後も、安心・安全でおいしい水道水をじゃ口までお届けすることができるよう、浄水場での徹底した水質管理や、塩素注入量の適正化など水道水の品質管理にかかる総合的な取り組みを継続的に進めていく必要があります。
問24	市内河川や伊勢湾などの水環境のさらなる向上のため、合流式下水道の改善対策などを引き続きすすめていく必要があります。また、環境への負荷を低減するため、温室効果ガス排出削減対策の推進や再生可能エネルギーの有効利用に向けた新たな取り組みが必要とされています。
問25	節水機器の普及や人口減少などにより今後も収益の減少傾向は続くものと見込まれるため、経営改善の取り組みを一層すすめる必要があり、さらなる効率化をはかるとともに、収益の確保に向けた取り組みをすすめる必要があります。また、職員の知識技術の習得や能力の向上を図り、重要な経営資源である人材の育成を推進し、組織力を高めていく必要があります。
問26	上下水道事業は主にお客さまからの上下水道料金により支えられている公益事業であり、わかりやすい情報発信に努め、理解と信頼を得ることが必要です。多くの課題を抱える上下水道事業を持続可能なものとするためユーザーでありオーナーでもあるお客さまと上下水道事業の将来を考えていけるような情報発信に努め、事業運営に関する理解を深めて信頼を確保していく必要があります。

■ (F S) 性別



	選択肢	実数	%
1	男性	157	46.7
2	女性	179	53.3
	計	336	100

■ (F S) 年齢

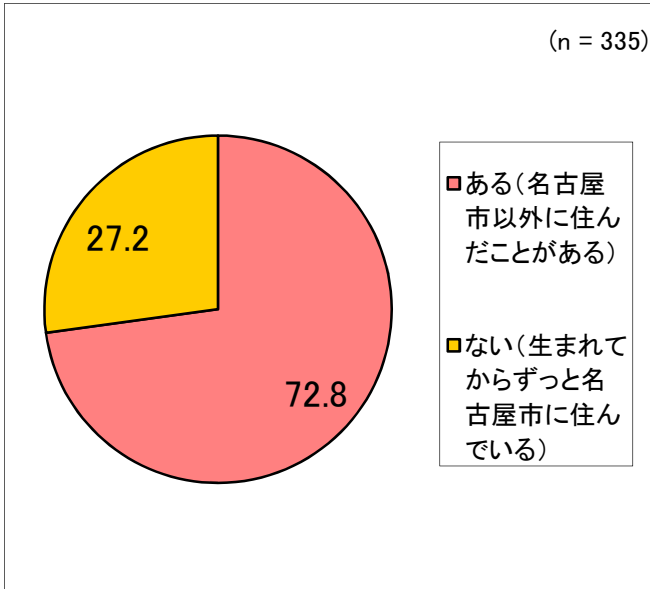


	選択肢	実数	%
1	10代	1	0.3
2	20代	20	6.0
3	30代	77	22.9
4	40代	92	27.4
5	50代	66	19.6
6	60代	47	14.0
7	70歳以上	33	9.8
	計	336	100

■ 構成比

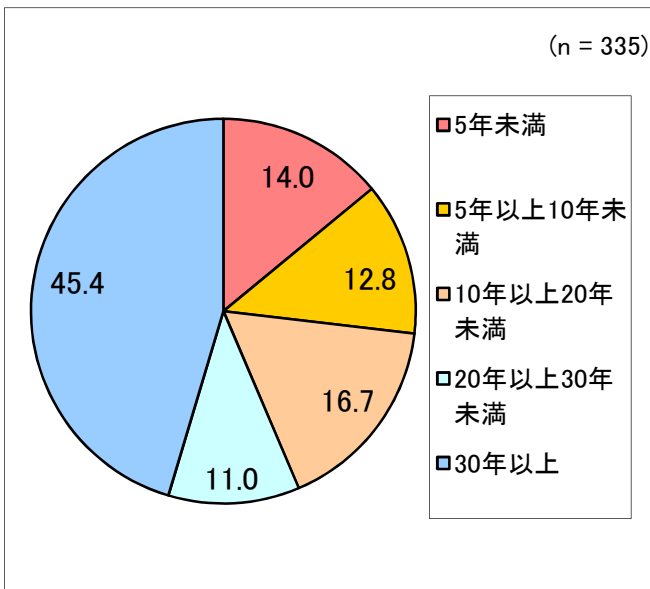
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	全体
男性	1	11	30	34	33	28	20	157
女性	0	9	47	58	33	19	13	179
全体	1	20	77	92	66	47	33	336

■問1 あなたは他都市に居住し、日常的に水道を利用したことはありますか。



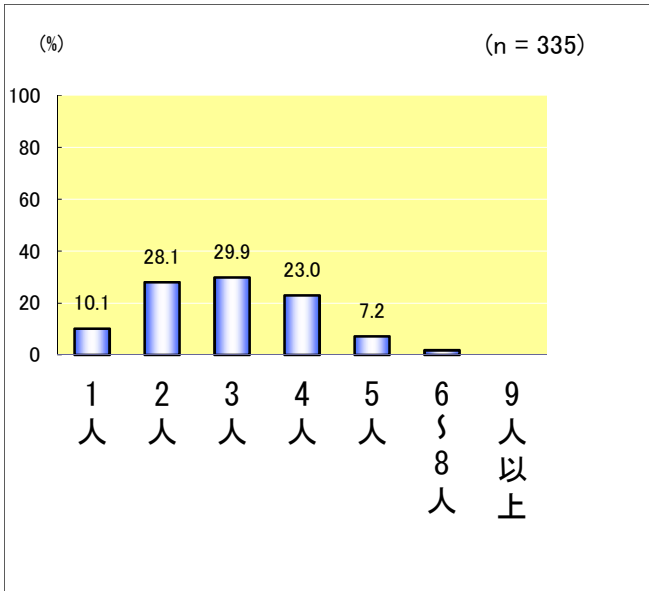
	選択肢	実数	%
1	ある(名古屋市以外に住んだことがある)	244	72.8
2	ない(生まれてからずっと名古屋市に住んでいる)	91	27.2
	計	335	100

■問2 あなたが名古屋市にお住まいになって、何年になりますか。



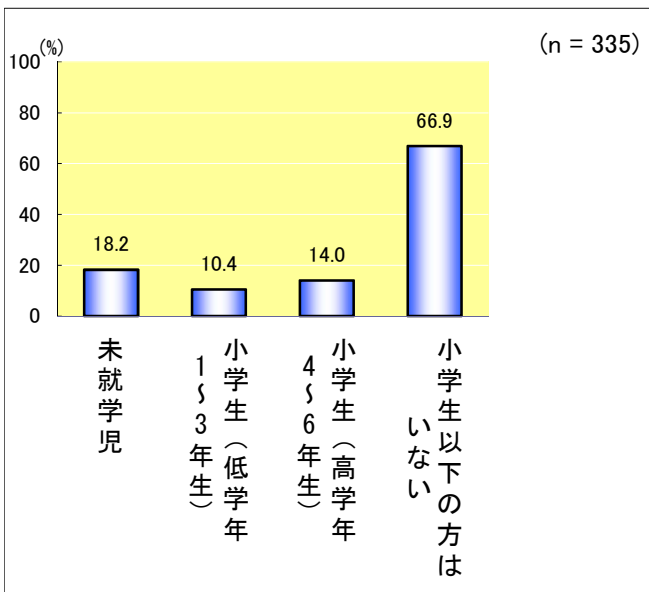
	選択肢	実数	%
1	5年未満	47	14.0
2	5年以上10年未満	43	12.8
3	10年以上20年未満	56	16.7
4	20年以上30年未満	37	11.0
5	30年以上	152	45.4
	計	335	100

■問3 同居しているご家族はご本人様を含め何人ですか。



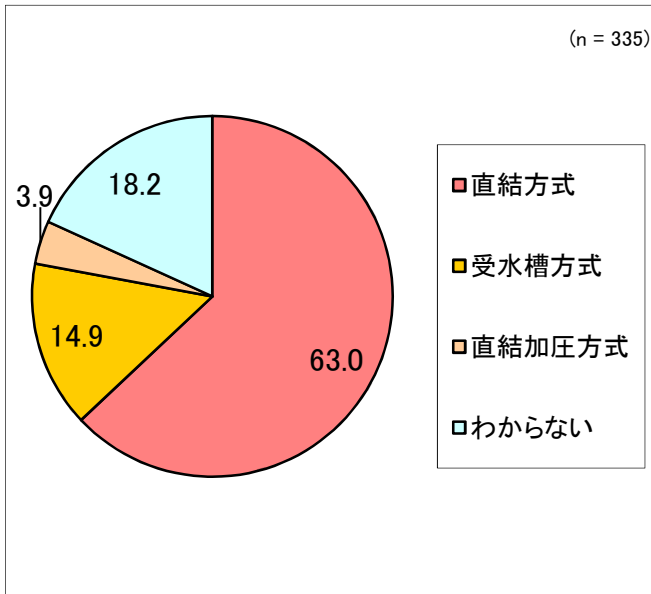
	選択肢	実数	%
1	1人	34	10.1
2	2人	94	28.1
3	3人	100	29.9
4	4人	77	23.0
5	5人	24	7.2
6	6～8人	6	1.8
7	9人以上	0	0.0
	計	335	100

■問4 現在、小学生以下の方が同居していますか。(複数回答)



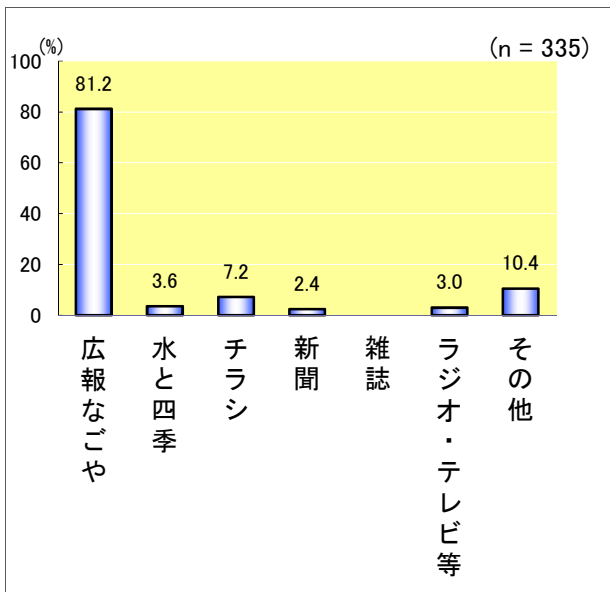
	選択肢	実数	%
1	未就学児	61	18.2
2	小学生 (低学年1～3年生)	35	10.4
3	小学生 (高学年4～6年生)	47	14.0
4	小学生以下の方はいない	224	66.9

■問5 あなたの住居の給水方式はどれですか。



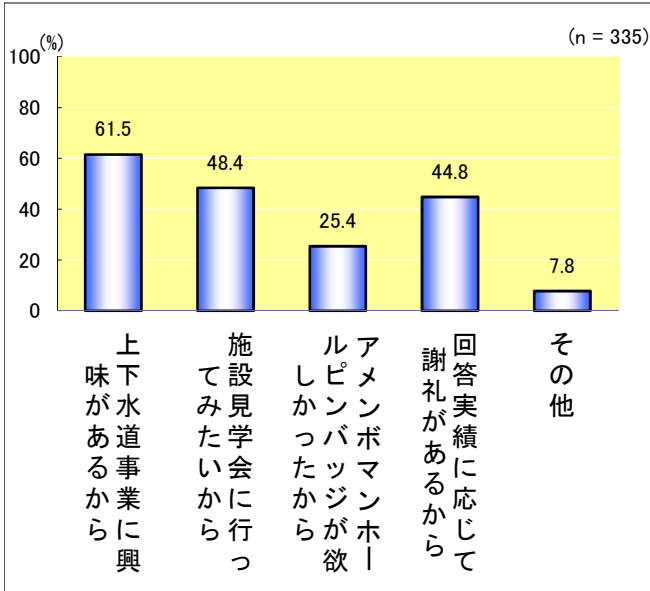
	選択肢	実数	%
1	直結方式	211	63.0
2	受水槽方式	50	14.9
3	直結加圧方式	13	3.9
4	わからない	61	18.2
	計	335	100

■問6 上下水道モニターの募集をどこでご覧になりましたか。(複数回答)



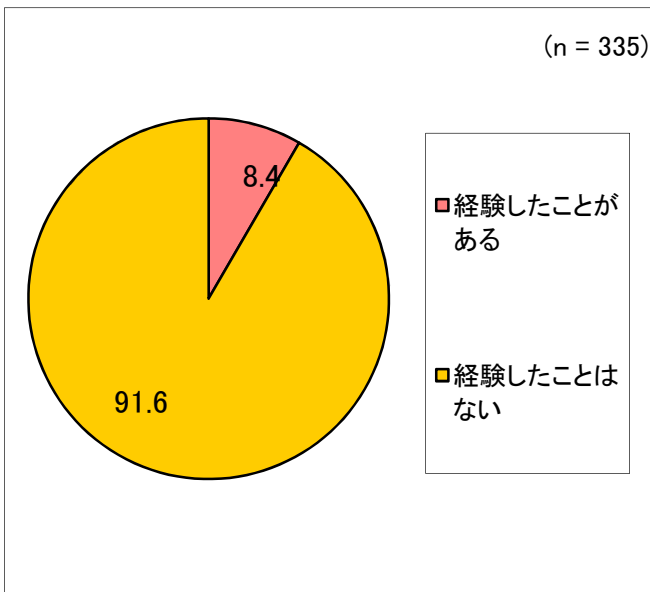
	選択肢	実数	%
1	広報なごや	272	81.2
2	水と四季	12	3.6
3	チラシ	24	7.2
4	新聞	8	2.4
5	雑誌	0	0.0
6	ラジオ・テレビ等	10	3.0
7	その他	35	10.4

■問7 上下水道モニターに応募された理由は何ですか。(複数回答)



選択肢	実数	%
1 上下水道事業に興味があるから	206	61.5
2 施設見学会に行きたいから	162	48.4
3 アメンボマンホールピンバッジが欲しかったから	85	25.4
4 回答実績に応じて謝礼があるから	150	44.8
5 その他	26	7.8

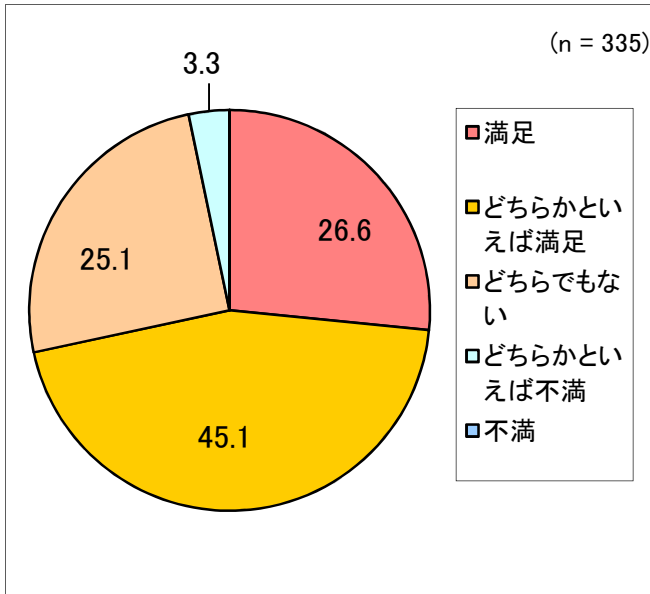
■問8 過去に上下水道モニターを経験されたことがありますか。?



選択肢	実数	%
1 経験したことがある	28	8.4
2 経験したことはない	307	91.6
計	335	100

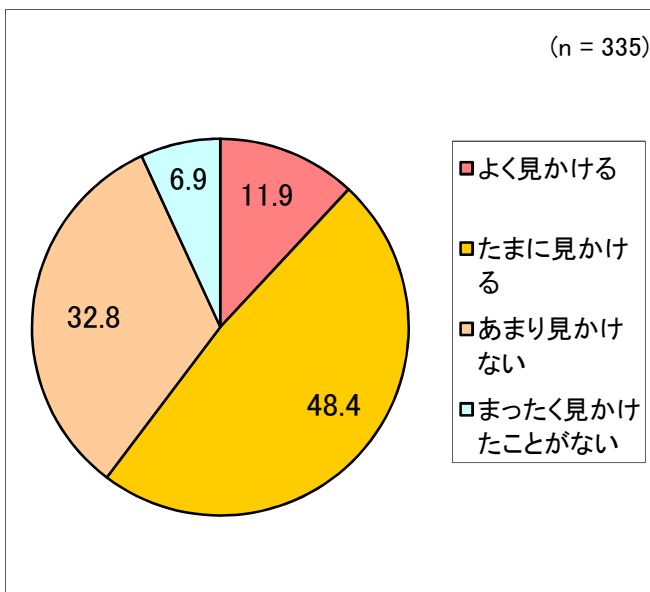


■問9 現時点での率直なご意見を教えてください。現在の上下水道事業について、どの程度満足していますか。



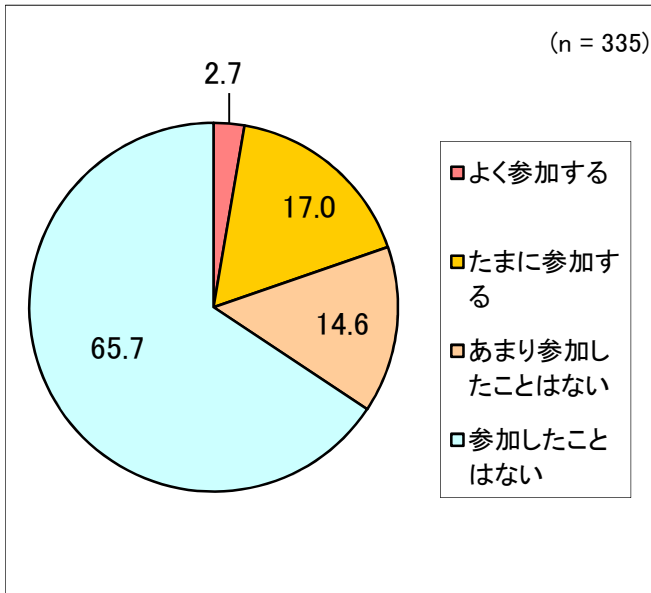
	選択肢	実数	%
1	満足	89	26.6
2	どちらかといえば満足	151	45.1
3	どちらでもない	84	25.1
4	どちらかといえば不満	11	3.3
5	不満	0	0.0
	計	335	100

■問10 上下水道局が発信する情報を目にされたことはありますか。



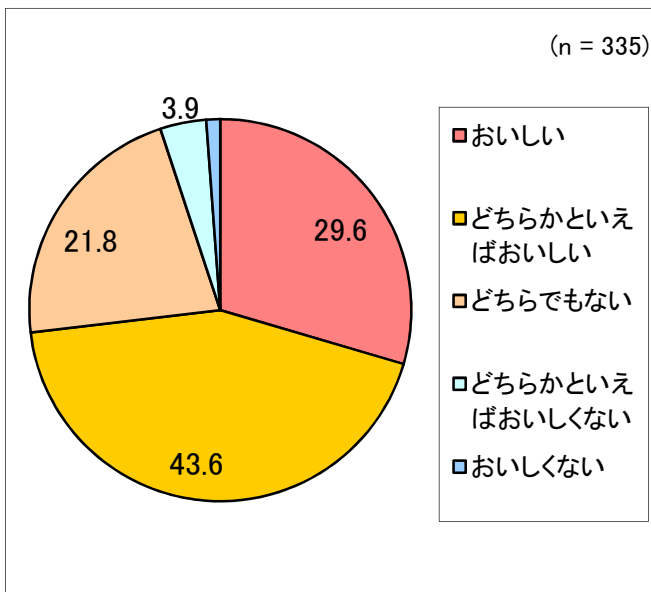
	選択肢	実数	%
1	よく見かける	40	11.9
2	たまに見かける	162	48.4
3	あまり見かけない	110	32.8
4	まったく見かけたことがない	23	6.9
	計	335	100

■問 1 1 上下水道局で実施しているイベントや施設見学に参加したことがありますか。



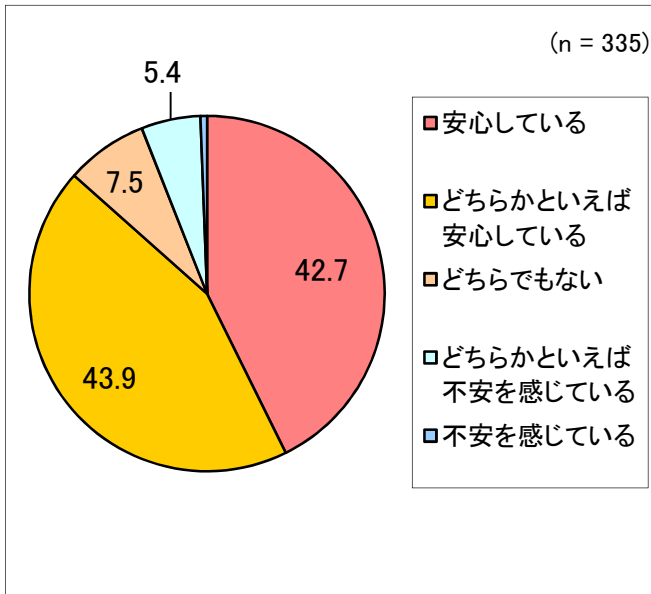
	選択肢	実数	%
1	よく参加する	9	2.7
2	たまに参加する	57	17.0
3	あまり参加したことはない	49	14.6
4	参加したことはない	220	65.7
	計	335	100

■問 1 2 なごやの水道水をおいしいと思いますか。



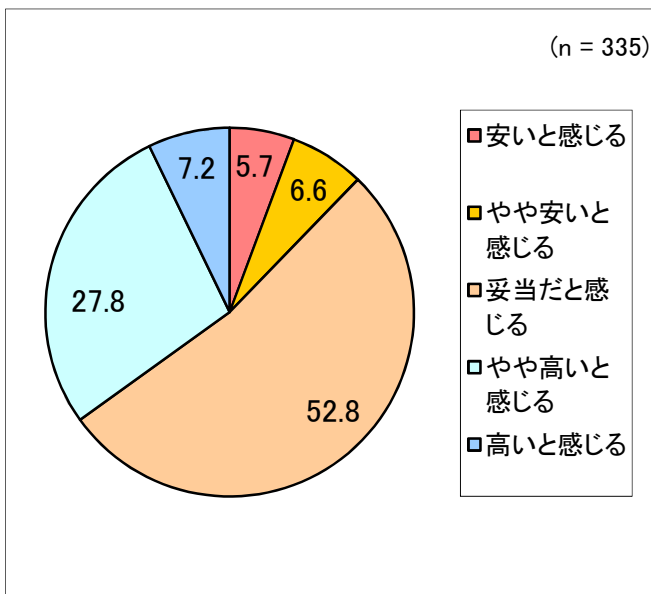
	選択肢	実数	%
1	おいしい	99	29.6
2	どちらかといえばおいしい	146	43.6
3	どちらでもない	73	21.8
4	どちらかといえばおいしくない	13	3.9
5	おいしくない	4	1.2
	計	335	100

■問 1 3 水道水の安全性について、日頃から感じていることを一つ選んでください。



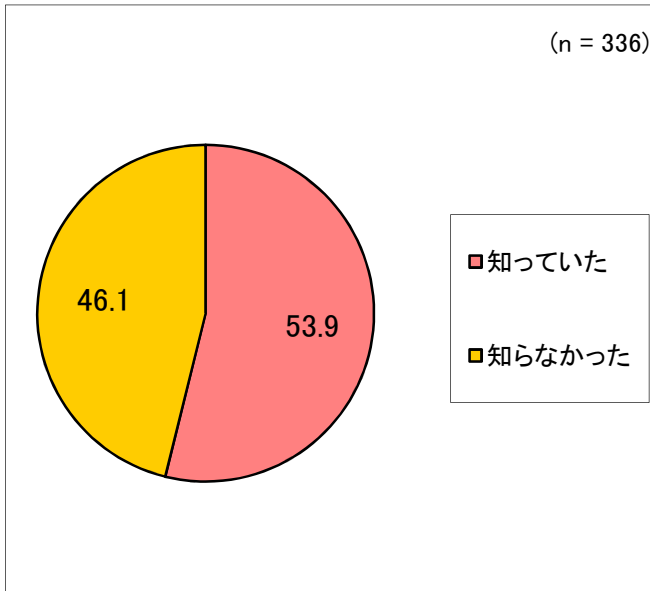
選択肢	実数	%
1 安心している	143	42.7
2 どちらかといえば安心している	147	43.9
3 どちらでもない	25	7.5
4 どちらかといえば不安を感じている	18	5.4
5 不安を感じている	2	0.6
計	335	100

■問 1 4 水道料金、下水道使用料についてどのように感じていますか。



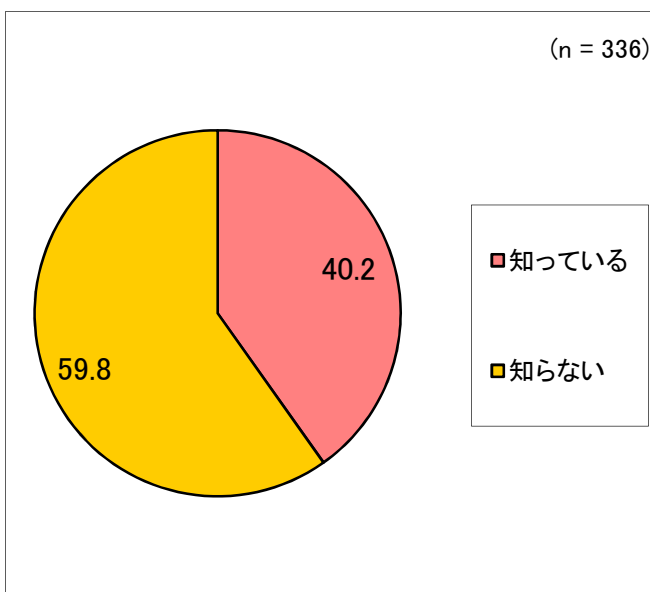
選択肢	実数	%
1 安いと感じる	19	5.7
2 やや安いと感じる	22	6.6
3 妥当だと感じる	177	52.8
4 やや高いと感じる	93	27.8
5 高いと感じる	24	7.2
計	335	100

■問15 地震などの災害に備えて1人9リットル（1日3リットルの3日分）の飲料水の備蓄をお願いしています。このことをご存じでしたか。



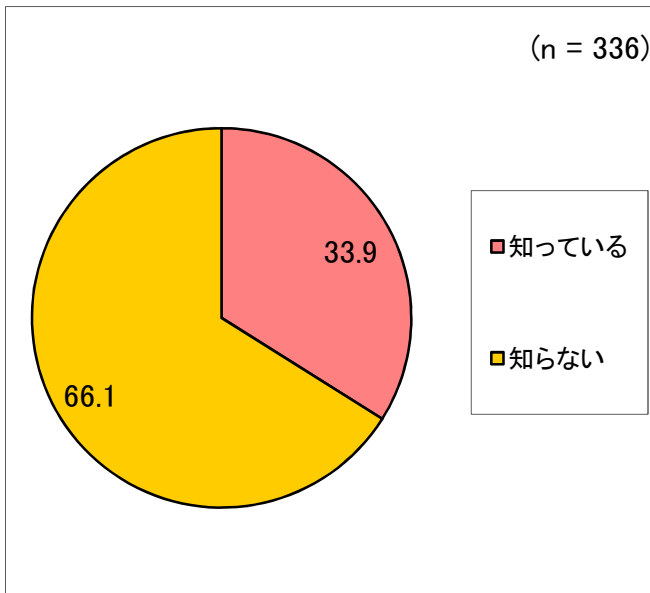
	選択肢	実数	%
1	知っていた	181	53.9
2	知らなかった	155	46.1
	計	336	100

■問16 災害時に上下水道局職員などが仮設給水栓を設置し、応急給水を行う「応急給水施設」をご存知ですか。



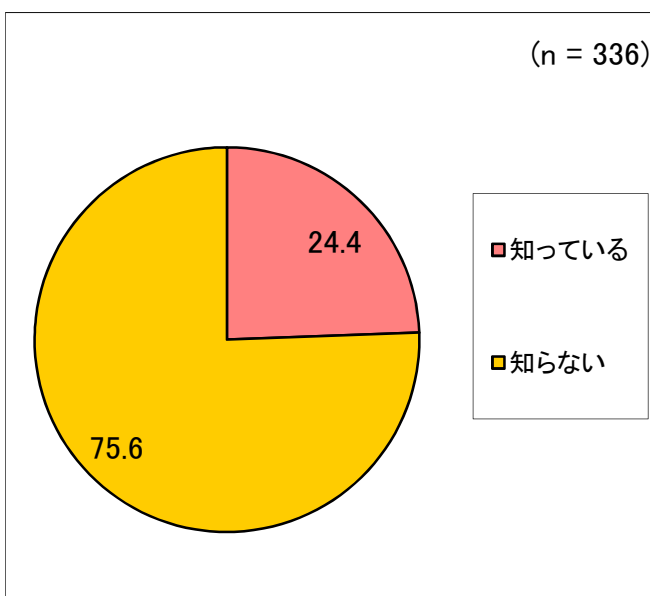
	選択肢	実数	%
1	知っている	135	40.2
2	知らない	201	59.8
	計	336	100

■問17 名古屋市内の全ての市立小中学校には、災害時に地域の皆さまが自ら操作して飲料水を確保するための設備である「地下式給水栓」が設置されていることをご存知ですか。



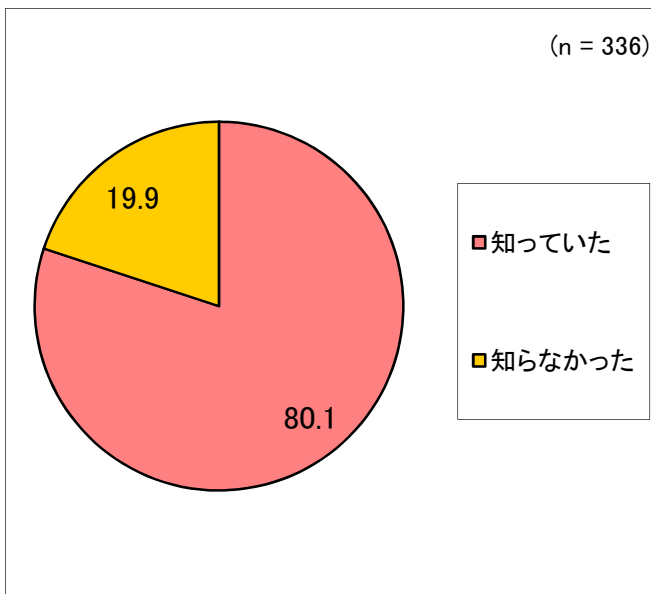
	選択肢	実数	%
1	知っている	114	33.9
2	知らない	222	66.1
	計	336	100

■問18 名古屋市内の全ての市立小中学校には、災害時に地域の皆さまが自ら設置してご利用いただける「下水道直結式仮設トイレ」が設置されていることをご存知ですか。



	選択肢	実数	%
1	知っている	82	24.4
2	知らない	254	75.6
	計	336	100

■問19 道路のわきには雨水が下水道に流れていく入口である雨水ますがあります。この雨水ますの上に落ち葉やゴミが溜まると、雨水が下水道に流れていかず、道路冠水が起こることがあります。このことをご存知でしたか。



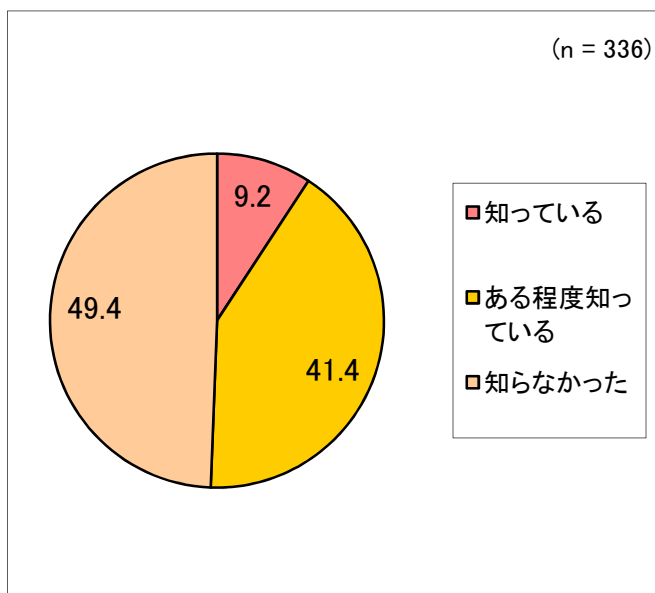
	カテゴリ	実数	%
1	知っていた	269	80.1
2	知らなかった	67	19.9
	計	336	100

《上下水道事業の現状と課題について》

上下水道局では、令和元（2019）年度から10（2028）年度までの10年間を計画期間とする、長期経営計画「名古屋市上下水道経営プラン2028」を策定し、事業に取り組んでいます。そのなかで、上下水道事業を取り巻く現状と課題について、以下のとおり整理しています。上下水道事業の現状と課題についてご存知でしたか。

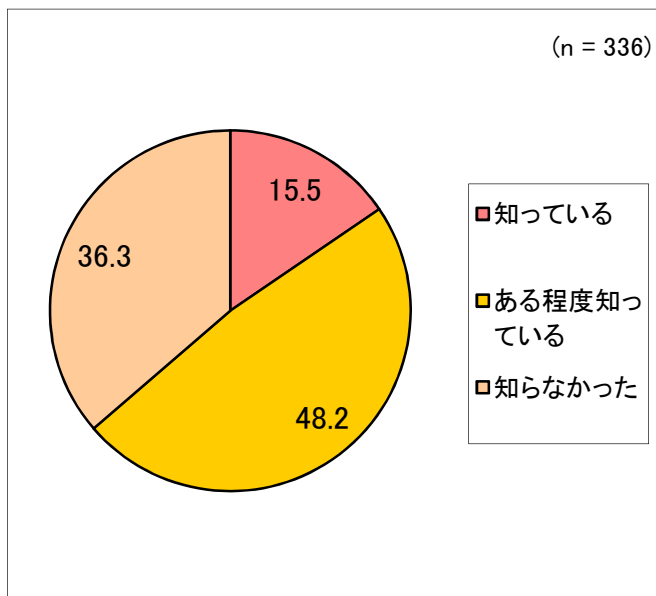
（問20～26についてそれぞれ一つずつ選んでください）

■問20 昭和40年代から昭和50年代にかけて整備された施設が多く、老朽化による施設の改築・更新時期が集中することが見込まれます。長期的な視点に立って施設の耐震化などを考慮した改築・更新事業の平準化を図るとともに、環境保全などと整合を図りながら改築・更新を進めることで効率的に機能向上に取り組む必要があります。



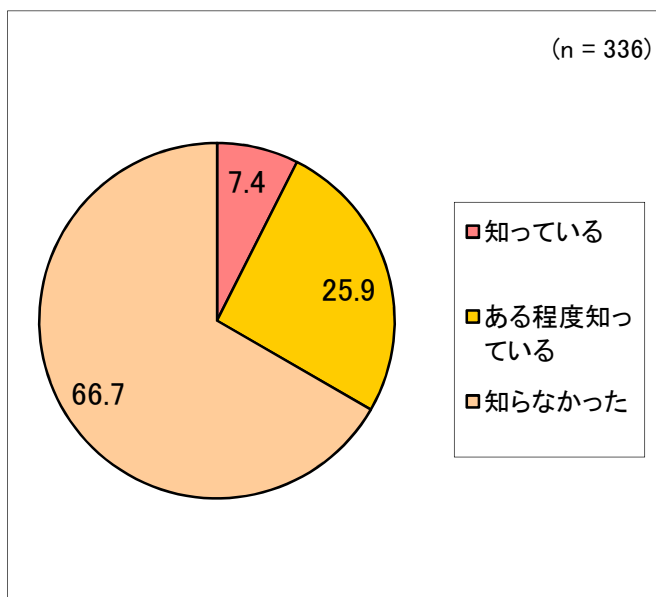
	選択肢	実数	%
1	知っている	31	9.2
2	ある程度知っている	139	41.4
3	知らなかった	166	49.4
	計	336	100

■問2 1 南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模地震や集中豪雨などへの備えとして地震対策・浸水対策を着実に推進していく必要があります。地域のみなさまとの連携を深め、「自助・共助・公助」の取り組みによる総合的な災害対応力をさらに強化していく必要があります。



	選択肢	実数	%
1	知っている	52	15.5
2	ある程度知っている	162	48.2
3	知らなかった	122	36.3
	計	336	100

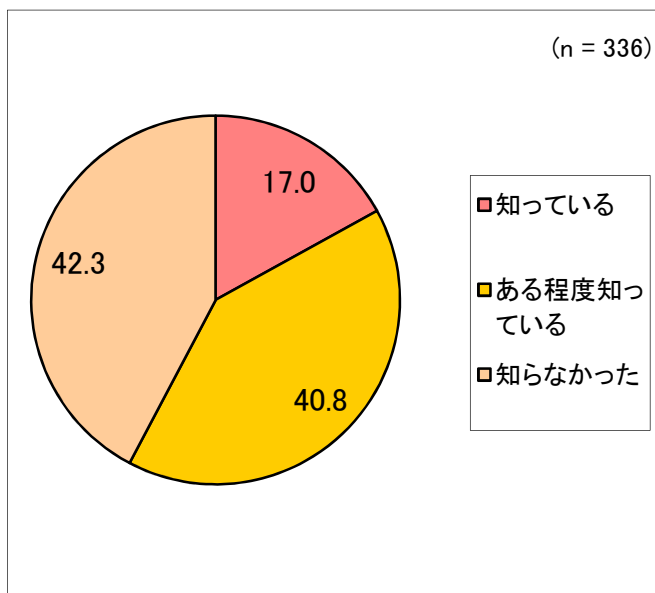
■問2 2 名古屋駅地区では令和9（2027）年のリニア中央新幹線の開業に向け、配水管や下水管の移設などを伴う大規模な工事が行われます。そして名古屋駅周辺地区と栄地区を中心とする都心部の発展を安定した上下水道サービスの提供によって支えていく必要があります。



	選択肢	実数	%
1	知っている	25	7.4
2	ある程度知っている	87	25.9
3	知らなかった	224	66.7
	計	336	100

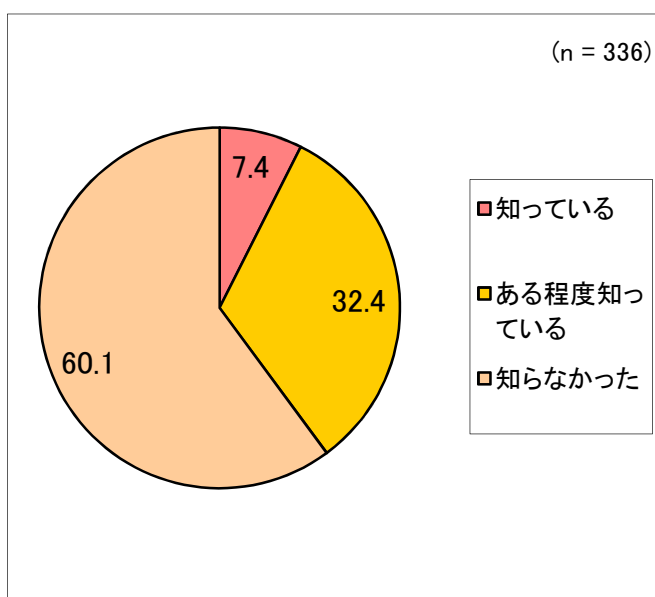


■問 2 3 本市の水道事業は、良質な水源に恵まれ、100年以上にわたり安全な水道水の供給に努め、「断水のないなごやの水道」という歴史を築いてきました。今後も、安心・安全でおいしい水道水をじゃ口までお届けすることができるよう、浄水場での徹底した水質管理や、塩素注入量の適正化など水道水の品質管理にかかる総合的な取り組みを継続的に進めていく必要があります。



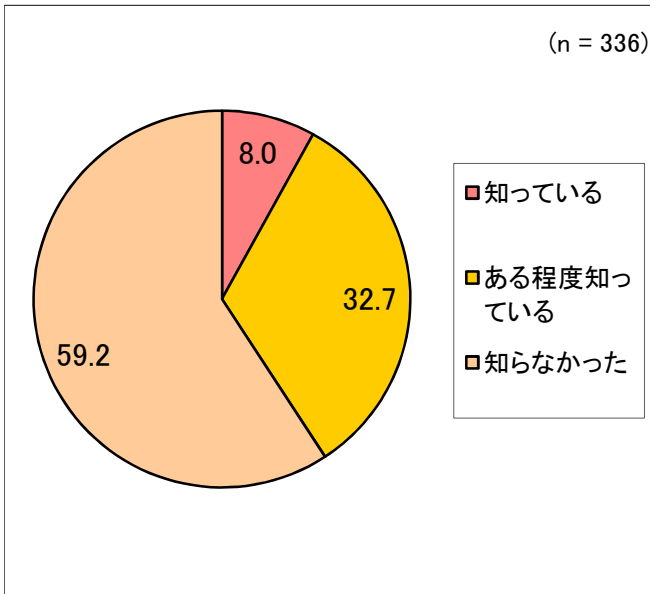
	選択肢	実数	%
1	知っている	57	17.0
2	ある程度知っている	137	40.8
3	知らなかった	142	42.3
	計	336	100

■問 2 4 市内河川や伊勢湾などの水環境のさらなる向上のため、合流式下水道の改善対策などを引き続きすすめていく必要があります。また、環境への負荷を低減するため、温室効果ガス排出削減対策の推進や再生可能エネルギーの有効利用に向けた新たな取り組みが必要とされています。



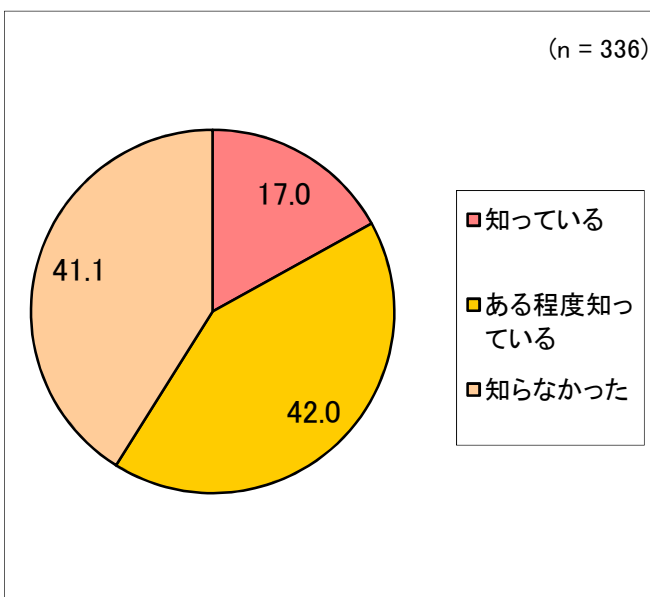
	選択肢	実数	%
1	知っている	25	7.4
2	ある程度知っている	109	32.4
3	知らなかった	202	60.1
	計	336	100

■問25 節水機器の普及や人口減少などにより今後も収益の減少傾向は続くものと見込まれるため、経営改善の取り組みを一層すすめ、さらなる効率化をはかるとともに、収益の確保に向けた取り組みをすすめる必要があります。また、職員の知識技術の習得や能力の向上を図り、重要な経営資源である人材の育成を推進し、組織力を高めていく必要があります。



	選択肢	実数	%
1	知っている	27	8.0
2	ある程度知っている	110	32.7
3	知らなかった	199	59.2
	計	336	100

■問26 上下水道事業は主にお客さまからの上下水道料金により支えられている公益事業であり、わかりやすい情報発信に努め、理解と信頼を得ることが必要です。多くの課題を抱える上下水道事業を持続可能なものとするためユーザーでありオーナーでもあるお客さまと上下水道事業の将来を考えていけるような情報発信に努め、事業運営に関する理解を深めて信頼を確保していく必要があります。



	選択肢	実数	%
1	知っている	57	17.0
2	ある程度知っている	141	42.0
3	知らなかった	138	41.1
	計	336	100